

## 平成21年第2回那珂川町議会定例会

### 議事日程(第4号)

平成21年3月13日(金曜日)午後3時開議

- 日程第 1 議案第32号 平成21年度那珂川町一般会計予算の議決について  
( 予算審査特別委員長報告 )
- 日程第 2 議案第33号 平成21年度那珂川町国民健康保険特別会計予算の議決について  
( 予算審査特別委員長報告 )
- 日程第 3 議案第34号 平成21年度那珂川町老人保健特別会計予算の議決について  
( 予算審査特別委員長報告 )
- 日程第 4 議案第35号 平成21年度那珂川町後期高齢者医療特別会計予算の議決について  
( 予算審査特別委員長報告 )
- 日程第 5 議案第36号 平成21年度那珂川町介護保険特別会計予算の議決について  
( 予算審査特別委員長報告 )
- 日程第 6 議案第37号 平成21年度那珂川町ケーブルテレビ事業特別会計予算の議決について  
( 予算審査特別委員長報告 )
- 日程第 7 議案第38号 平成21年度那珂川町下水道事業特別会計予算の議決について  
( 予算審査特別委員長報告 )
- 日程第 8 議案第39号 平成21年度那珂川町農業集落排水事業特別会計予算の議決について  
( 予算審査特別委員長報告 )
- 日程第 9 議案第40号 平成21年度那珂川町簡易水道事業特別会計予算の議決について  
( 予算審査特別委員長報告 )
- 日程第10 議案第41号 平成21年度那珂川町水道事業会計予算の議決について  
( 予算審査特別委員長報告 )

本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

出席議員（18名）

1番	鈴木雅仁君	2番	原田照信君
3番	益子明美君	4番	大金市美君
5番	岩村文郎君	6番	小林盛君
7番	福島泰夫君	8番	川上要一君
9番	阿久津武之君	10番	橋本操君
11番	鈴木和江君	12番	石田彬良君
13番	桑原勇一君	14番	杉本益三君
15番	薄井和平君	16番	大金伊一君
17番	大森富夫君	18番	小川洋一君

欠席議員（なし）

地方自治法第121条により説明のため出席した者の職氏名

町長	川崎和郎君	副町長	佐藤佳正君
教育長	桑野正光君	会計管理者兼 会計課長	吉成啓二君
総務課長	佐藤良美君	企画財政課長	大金佳宣君
C T B放送 センター室長	岡豊二君	税務課長	荒井和夫君
住民生活課長	阿久津実君	環境整備対策 室長	益子実君
健康福祉課長	小室定子君	建設課長	佐藤勇三君
農林振興課長	山本勇君	高度情報化 推進室長	鈴木吉美君
商工観光課長	荒井進君	小川支所 管理課長兼 産業建設課長	佐々木香君
小川支所 住民生活課長	星和好君	小川支所 健康福祉課長	松崎敬三君
学校教育課長	山田広充君	生涯学習課長	藤田悦男君
上下水道課長	手塚孝則君	農業委員会 事務局長	鈴木文男君

職務のため議場に参加した者の職氏名

議会事務局長	齋藤裕一	書記	橋本民夫
書記	大金ハツイ	書記	増子定徳

開議 午後 3時00分

#### 開議の宣告

議長（小川洋一君） ただいまの出席議員は18名であります。

定足数に達しておりますので、直ちに本日の会議を開きます。

#### 議事日程の報告

議長（小川洋一君） 本日の議事日程につきましては、お手元に配付したとおりでありますので、ごらん願います。

#### 議案第32号～議案第41号の委員長報告、質疑、討論、採決

議長（小川洋一君） 日程第1、議案第32号 平成21年度那珂川町一般会計予算の議決について、日程第2、議案第33号 平成21年度那珂川町国民健康保険特別会計予算の議決について、日程第3、議案第34号 平成21年度那珂川町老人保健特別会計予算の議決について、日程第4、議案第35号 平成21年度那珂川町後期高齢者医療特別会計予算の議決について、日程第5、議案第36号 平成21年度那珂川町介護保険特別会計予算の議決について、日程第6、議案第37号 平成21年度那珂川町ケーブルテレビ事業特別会計予算の議決について、日程第7、議案第38号 平成21年度那珂川町下水道事業特別会計予算の議決について、日程第8、議案第39号 平成21年度那珂川町農業集落排水事業特別会計予算の議決について、日程第9、議案第40号 平成21年度那珂川町簡易水道事業特別会計予算の議決について及び日程第10、議案第41号 平成21年度那珂川町水道事業会計予算の議決についてを一括議題とします。

本件は、予算審査特別委員会に審査を付託したのですが、予算審査特別委員長より審査結果の報告を求めます。

橋本 操君。

〔予算審査特別委員長 橋本 操君登壇〕

予算審査特別委員長（橋本 操君） 審査結果についてご報告いたします。

予算審査特別委員会に付託されました議案第32号 平成21年度那珂川町一般会計予算の議決について、議案第33号 平成21年度那珂川町国民健康保険特別会計予算の議決について、議案第34号 平成21年度那珂川町老人保健特別会計予算の議決について、議案第35号 平成21年度那珂川町後期高齢者医療特別会計予算の議決について、議案第36号 平成21年度那珂川町介護保険特別会計予算の議決について、議案第37号 平成21年度那珂川町ケーブルテレビ事業特別会計予算の議決について、議案第38号 平成21年度那珂川町下水道事業特別会計予算の議決について、議案第39号 平成21年度那珂川町農業集落排水事業特別会計予算の議決について、議案第40号 平成21年度那珂川町簡易水道事業特別会計予算の議決について、議案第41号 平成21年度那珂川町水道事業会計予算の議決について、以上、10会計予算については、平成21年3月10日から本日までの延べ4日間、関係課長等の説明を求め、慎重に審査をいたしました。

各会計予算の審査結果については、文書をもって報告しましたとおり、本委員会において原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

なお、予算審査特別委員会における意見等については、それぞれ関係する課局室の審査の際に申し上げましたが、特に審査報告には、1、保育事業の充実と安定的な保育士確保を図るため、近隣市町との均衡を考慮し、臨時保育士賃金の見直しを検討すること。2、子育て支援施策における各種事業の実施に当たっては、人的にも経費面においても、より手厚い支援を行い、さらに内容を充実させるとともに有効な展開を図ること。3、土木・建築関係事業については、町民が事業の効果を早く受けられるよう、でき得る限り早く着手し、繰り越しのないように努めること。4、ケーブルテレビの加入については、高度化事業の有益性をさらに啓発し、加入率目標の達成に向けて特段の取り組みを行うことの以上、4項目の意見等を付して報告いたします。

以上で報告を終わります。

議長（小川洋一君） 報告が終わりました。

これより質疑を行います。

質疑はありませんか。

〔「なし」と言う人あり〕

議長（小川洋一君） 質疑はないようですので、質疑を終わります。

これより討論を行います。

討論はありませんか。

討論は、先に本案に対する反対討論を許します。

益子明美さん。

3番（益子明美君） 議案第32号 平成21年度那珂川町一般会計予算について、反対の立場から討論いたします。

町長は、予算案の要旨で、冒頭に町民と一体となった町民参加のまちづくり、地域で支え合う福祉、町民一人一人の声を行政に反映させるよう努力してきたと述べられました。

那珂川町の総合振興計画の基本テーマ、豊かな自然と文化にはぐくまれ、優しさと活力に満ちたまちづくりを進めるため、三大重点プロジェクトの一つである「自然、環境との共生推進プロジェクト」では、那珂川町環境基本計画を策定し、新たに設置される環境総合推進室において、環境のまちづくり推進事業を行うこととしました。

総合振興計画の基本目標の一つである豊かな自然と共生するまちづくりは、自然環境や生活環境の保全対策や地域循環型社会を目指すものであり、自然を破壊し、那珂川町民の安心で安全な生活を脅かす処分場設置計画は、相反するものであります。

いまだに処分場地権者の半数以上が買収に応じておらず、搬入路の住民の方々の反対や地元住民との同意を得ていない処分場計画は、町民一人一人の声が行政に反映されていないことのあかしです。

真の循環型社会形成のためには、ごみの排出量を減らし、リサイクル、リユース、リデュースに積極的に取り組むことが必要であります。21年度予算には、バイオマスやISO推進について、調査、研究のための予算しか組まれておらず、身近で基本的な問題であるごみ排出量の削減には、少しも触れられていないのが現状です。

地域振興ばかりに振り回され、足元に広がる多種多様な問題から目をそらしていると、未来に大きな禍根を残すこととなります。

一方、百年に一度の危機的な財政状況が叫ばれる中、限られた財源の効果的、効率的な運用を基本に、雇用の確保に取り組み、消費的経費を削り、投資的経費の確保をとした21年度の予算編成であります。本当に効果的、効率的な運用であるのか、雇用の確保がしっかりとできたのか、必要である消費的経費を削減し、不必要な投資をしていないか疑問に感じるところも多くあります。

地域で支え合う福祉を根底から支え、安心で安全な生活を守る消防施設整備事業の1,000

万円の減額や働く母親を支え、子育て支援に関する多様なニーズにこたえられるよう、早急に整備される統合保育園事業は、起債を少なく抑えることができたことは、大いに評価するところでありますが、一方で臨時職員の確保ができていないこと、現場では正職員も臨時職員も同じように大変な仕事をこなし、現代におけるさまざまな家庭問題や子供の発達問題にも細かな対応を迫られる保育士という仕事に対して、臨時職員といえども、町も積極的にその職責に応じた給与を支払うことを考えなくてはなりません。また、新しく出される補助金は、どのような基準のもとに許可されるのかあいまいです。

里山温泉トラフグ研究会に出される補助金は、地域資源を活用し、将来の地域活性化につながる事業としての期待から、その調査、研究費の一部を補助するものとしておりますが、その効果は未知数であり、今後、事業主体でやっていくことを基本とするならば、財政難の今だからこそ、「民間でできることは民間で」を貫く姿勢を見せるべきでしょう。

財政難の今であるからこそ、何を公共部門で、何を民間部門で供給するのかを住民としっかり話し合い、協力を求める姿勢と、透明性のある真に町民に開かれた行政を目指し、予算配分すべきと考えをお伝えして、私の反対討論といたします。

議長（小川洋一君） 続いて、本案に対する賛成討論を許可します。

川上要一君。

8番（川上要一君） 議案第32号より議案第41号までの採決に当たりまして、賛成の立場から討論を行います。

那珂川町平成21年度予算は、一般会計予算額73億9,000万円、特別会計8会計及び水道事業会計の予算総額は42億3,150万円であります。

歳入に当たりましては、厳しい財政状況下にあつて、一般会計におきましては、町の各基金からの5億1,700万円の繰り入れはあるものの、歳入財源が確保されております。それでも依存財源が前年度対比1%増の59.9%であります。その中で町は、町債6億270万円の起債につきましては、充当事業の厳選に努めまして、将来の財政負担に支障がより軽い過疎対策事業債や合併特例債などのより有利なものを活用する計画が見られます。

また、歳出におきましては、歳出見積もりもよく堅実なものが見られます。町民のより一層の福祉の向上に努められますとともに、各事業の執行に当たっては、無駄のない執行に努め、歳出削減を図り、職員一丸となって財政の健全化に向けて、より一層の努力をされますことを求めます。

さらに、予算審査特別委員会での重要意見項目を十分に組み入れられますことを求めまし

て、賛成の討論といたします。

議長（小川洋一君） 続きまして、反対討論。

大森富夫君。

17番（大森富夫君） 私は、平成21年度の町一般会計予算と国民健康保険特別会計予算、後期高齢者医療特別会計予算、介護保険特別会計予算、ケーブルテレビ事業特別会計予算、下水道事業特別会計予算、簡易水道事業特別会計予算及び水道事業会計予算の議決に反対の討論をいたします。

未曾有の経済的危機と言われる現下の情勢におきまして、行政年度末には、失業者は、厚労省発表では12万5,000人、業界団体では40万人出るだろうとされています。この事態に政府は、第2次補正で小手先の施策を講じただけで、大企業の120兆円もため込んだ内部留保金を使って、雇用を維持させる抜本的な指導を本格的にとろうとしていません。

これまでのアメリカ言いなり、大企業優先の政治は、ここに来て、さらに国民、町民に厳しい状況を突き出してきています。この政治災害と言って過言でない事態に、町はまともに手を尽くそうとしていません。国から交付される地域活性化生活対策臨時交付金も、真に地域の活性化と町民生活対策に使用せず、そのほとんどを小川地区の統合保育園建設に前倒しして使ってしまうこと、ここに端的に見られるように、地域活性化町民生活対策に真剣に取り組んだ予算になっていません。

合併して4年目に入り、この間の取り組みで合併してよかったと言える事業があったでしょうか。学校つぶし、保育園つぶし、ほとんど人が通らないところに1,500万円もかけてトイレをつくるというようなことをしました。自然豊かな備中沢に、80万トンもの覆土も含めた産業廃棄物を埋める先導役までしています。県の事業に町の職員を3人も配置しています。こういったことは言語道断ではありませんか。

特別会計の少なくない部分は、国の責任、つまり補助率の引き下げなどにより、高い国民健康保険税、75歳以上の人ができるだけ医療を受けづらくするという後期高齢者医療制度、10%の負担や入居費、食事負担など負担が重く、利用しにくい介護保険制度、宅内工事費、全加入者無料化ができるのに実行しないケーブルテレビ事業、過大設備と利用料金が高い下水道や簡易水道や水道事業、これらは国・県の補助率を高めるように、町からの要請とともに、町自体が無駄を省き、福祉と教育の充実、環境を守る町民サービス向上の一層の努力こそが求められるというふうに考えます。

以上、私は、老人保健、農業集落排水、この2議案に賛成をし、さきの8議案に反対し、

議決反対のこの議案に当たりましては、町民生活とサービス向上、教育、福祉、そして医療の充実、環境を守るための予算に組みかえることを要求して、議決反対の討論といたします。  
議長（小川洋一君） 続きまして、本案に対する賛成討論はありませんか。

桑原勇一君。

13番（桑原勇一君） 私は、平成21年度各会計予算案について賛成の討論を行います。

大変厳しい財政状況の中、執行部におかれましては、創意工夫を図り、町民福祉の向上のため、教育、福祉、産業、建設など、多方面にわたり努力をしたと認識をしております。特に平成20年度にケーブルテレビ高度化事業が完成し、21年度から小川地区を含めて、全町内で新たに運営されることとなりました。

今後の活躍に期待がかかるわけですが、学官連携事業を通して、番組作成の充実を図られるよう期待するものであります。

また、行政改革の推進や各種事務事業においても、さまざまな分野で最大限配慮されたものと理解をするものであります。

ただし、那珂川町を取り巻く財政状況は、決して予断を許さないものがあります。緊急経済対策に積極的に取り組むほか、町の進むべき方向を示した那珂川町総合振興計画に掲げられている三大プロジェクトが着実に実行されることを望みます。

那珂川町が夢と希望を持てる、若者が誇りを持って暮らせる町を念願し、私の賛成討論といたします。

議長（小川洋一君） 続きまして、反対討論はありませんか。

小林 盛君。

6番（小林 盛君） 私は、平成21年度那珂川町の一般会計予算に反対の討論をいたします。

反対の理由といたしまして、この環境整備対策室の目的と、その必要性に疑問を感じておるわけであります。この対策室に職員3人の人件費と処分場見学のための啓発費、処分場用地買収のお手伝いなど、不法投棄解決に名をかりた処分場設置のための予算というものを認めるわけにはいきません。今までに既に2億5,000万円から約2億8,000万円ぐらいは、この人件費に投入されてきております。町には何の権限も責任もない。産廃の不法投棄解決のために税金が投入されているわけであります。

しかし、県も町も不法投棄解決とは名ばかりで、実は県営処分場をつくることに目的をすりかえてしまっております。これは違法な行政です。環境整序という行政の責任を全く無視しております。環境整序とは、人の健康、または生活及び自然環境に対する被害、公害を防

止し、国民の健康の保護と生活、自然環境の保全、創造を目的とすると、こういう行政の責務を果たしておりません。行政は住民の安全、安心な生活を守ることを第一に考えるべきです。

そして、そのために法律があるわけです。それが特定産業廃棄物に起因する支障の除去等に関する特別措置法、これが北沢の不法投棄解決のための、まさに真の実現可能な最善の方法であります。しかし、この根拠となるべき法律を無視し、法律に頼らない公共事業として解決を図ろうとしております。

行政自身が契約の一当事者となる、住民と環境保全協定を結ぶという、これは行政契約というものであって、法的効果を伴わない行政です。不法投棄は犯罪です。犯罪を解決するのに法律を適用しないというのは、まさに違法であります。

以上のことから、反対の討論といたします。

議長（小川洋一君） ほかにありませんか。

岩村文郎君。

5番（岩村文郎君） 私は、賛成の立場から討論させていただきたいと思います。

今回提案されました全議案は、厳しい財政の中、大変苦勞されたと思われます。細かいところに配慮され、めり張りのある予算編成だと思っております。

予算審査の中で指摘されたこと、要望されたこと、たくさんあったかと思われます。特に目的が達成されました節など検討する必要があると思ひます。

また、新規に計画をされておる事業などたくさんありますが、速やかに執行されますよう要望したいと思ひます。特にイノシシの加工施設など、地域振興のためになるかと思われます。計画どおり進めていただくことを特にお願いいたしまして、私の賛成討論とさせていただきます。

議長（小川洋一君） ほかに討論はありませんか。

〔発言する人なし〕

議長（小川洋一君） 討論はないようですので、討論を終わります。

採決を行います。

採決は1件ごとに起立により行ひます。

議案第32号 平成21年度那珂川町一般会計予算の議決については、委員長報告のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔起立多数〕

議長（小川洋一君） 起立多数と認めます。

よって、議案第32号は原案のとおり可決されました。

議案第33号 平成21年度那珂川町国民健康保険特別会計予算の議決については、委員長報告のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔起立多数〕

議長（小川洋一君） 起立多数と認めます。

よって、議案第33号は原案のとおり可決されました。

議案第34号 平成21年度那珂川町老人保健特別会計予算の議決については、委員長報告のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔起立全員〕

議長（小川洋一君） 起立全員と認めます。

よって、議案第34号は原案のとおり可決されました。

議案第35号 平成21年度那珂川町後期高齢者医療特別会計予算の議決については、委員長報告のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔起立多数〕

議長（小川洋一君） 起立多数と認めます。

よって、議案第35号は原案のとおり可決されました。

議案第36号 平成21年度那珂川町介護保険特別会計予算の議決については、委員長報告のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔起立多数〕

議長（小川洋一君） 起立多数と認めます。

よって、議案第36号は原案のとおり可決されました。

議案第37号 平成21年度那珂川町ケーブルテレビ事業特別会計予算の議決については、委員長報告のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔起立多数〕

議長（小川洋一君） 起立多数と認めます。

よって、議案第37号は原案のとおり可決されました。

議案第38号 平成21年度那珂川町下水道事業特別会計予算の議決については、委員長報告のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔起立多数〕

議長（小川洋一君） 起立多数と認めます。

よって、議案第38号は原案のとおり可決されました。

議案第39号 平成21年度那珂川町農業集落排水事業特別会計予算の議決については、委員長報告のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔起立全員〕

議長（小川洋一君） 起立全員と認めます。

よって、議案第39号は原案のとおり可決されました。

議案第40号 平成21年度那珂川町簡易水道事業特別会計予算の議決については、委員長報告のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔起立多数〕

議長（小川洋一君） 起立多数と認めます。

よって、議案第40号は原案のとおり可決されました。

議案第41号 平成21年度那珂川町水道事業会計予算の議決については、委員長報告のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔起立多数〕

議長（小川洋一君） 起立多数と認めます。

よって、議案第41号は原案のとおり可決されました。

#### 町長あいさつ

議長（小川洋一君） ここで、町長から発言があれば、これを許可します。

町長。

〔町長 川崎和郎君登壇〕

町長（川崎和郎君） この3月定例会、去る5日から開会されまして、本日まで大変長期間にわたりまして慎重審議をいただき、まことにありがとうございました。

なお、その上に、全議案を議決賜りました。心から感謝を申し上げます。

百年に一度の金融危機とあわせまして、世界的な経済の不況というふうなことで、大変厳しい状況の中で、町におきましても少子・高齢化、人口減少、加えまして遊休農地の拡大等、大変当町を取り巻く環境が厳しい状況であります。そういうふうな中で、我々執行部といた

しましても、21年度の予算の中で、いかに現在の町の置かれている立場を十分配慮して、この予算の編成に当たったところでございます。

これから予算の執行に当たりましても、議会の皆様方のさらなるご協力を心からお願い申し上げます。

その中で幾つか意見等が出ておりますので、この意見等につきまして、私のほうから内容について申し上げたいと思います。

まず最初の保育士の賃金の見直しということでございますが、まさに意見のとおりでありまして、今月の広報なかがわにおいても、また保育士の職員募集をしているというふうな状況でございます。内容を聞きましたら、どうしても近隣の市町と比べて当町の賃金が安いというふうなことです。これらを早急に検討して、保育士の確保に当たっていきたく思います。

特に保育士の代表者の会議等におきましても、常にゆとりある保育というふうなことを、そういう要望がされておりますので、そういう要望にこたえるためにも、臨時保育士の早急な対応を考えてまいりたいと、このように考えております。

2番の子育て支援策であります。21年度で小川の統合保育所を建設するというふうな議決をいただいたわけですが、やはり町行政の中でも、人口減少の中で、いかにして子育て環境の整備を充実するか、そういうふうなことが定住人口の増加にもつながるというふうな考え方を持っております。保育所以外の事業につきましても、人的にも経費面においても、より手厚い支援をと、こういうふうなご意見でございますので、これらにつきましても早急に対応してまいりたいと、このように思います。

3番の土木・建築関係事業の繰り越しというふうなことでございますが、いろいろ執行部といたしましても、早期発注、期限内の完成というふうなことで努力をしているところでございますが、中には用地の問題等で着工がおくれると、こういうふうなこともございます。それらにつきましても、これから十分予知いたしまして、早期の発注に努めて、繰り越しのないように努力をしていきたいと、このように考えております。

最後のケーブルテレビにつきましては、まさに意見書に出されているとおりでありまして、現在、小川地区におきましても、試験的な放送を開始したところでございますが、そういうことによって、近所の方々もまた加入しようと、こういうふうな機運も出てきております。これから教育、福祉、あらゆる面で、このケーブルテレビが大きな効果を発揮するものと、このように期待をしておりますし、そういうふうなことによりまして、より一層、加入者も

ふえてくるのではないかと思いますし、町自体といたしましても、この加入申し込みについて、さらなる努力をしてみると、そういうふうに内部でも決定をしておりますので、新年度に入りましてからも、さらなる加入率を向上させるための努力をしてみたいと、このように考えておりますので、議会の皆様方のさらなるご協力もお願いいたしまして、意見書に対する私の考えとさせていただきたいと思います。

ありがとうございました。

#### 閉会の宣告

議長（小川洋一君） 以上で、今期定例会の会議に付されました事件はすべて終了いたしました。

会議を閉じます。

これにて平成21年第2回那珂川町議会定例会を閉会とします。

ご起立願います。

ご苦労さまでした。

閉会 午後 3時36分